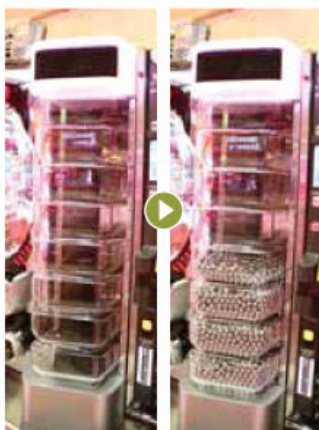




従来の計数機付きユニットのデメリットを解消した本システム。ユーザーはとって、より分かりやすくより安全な構造になっている

【玉を流すと保留装置に貯留】



台横に設置された保留装置は、出玉を流すと上部から玉が転がり、積まれていく仕組みとなっている。台横にあるため、遊技移動の利便性はもちろんのこと、視認性も高くなるというメリットがある

玉
越(愛知県名古屋市長・高木二夫
会長)は、傘下のエーシーホー
ルディングスジャパン(愛知県名古屋
市・田中稔章社長)と大手メーカーで
あるエース電研(東京都台東区・瀧井
秋男社長)とで共同開発した各台計
数機付きユニットシステムに対応した
出玉保留装置を、自店のヨントリー
中川店(遊技台数1,060台)にて4
月11日にテスト導入した。

昨今パチンコ業界は厳しい中で、人
員削減やローコストオペレーションが
新たな経営課題となっている。導入の
高まる各台計数機付きユニットは、玉
箱を積まない営業スタイルで、通路を
スクリューさせ、遊技移動の利便性や従
業員が玉箱の上げ下ろしで腰を痛め
ない、玉の盗難防止等の問題を解消
するといったメリットの半面、玉量が
解りづらいたく言うことも導入に当た
て最大の懸念材料となっていた。

これに対して、同社高木会長は「お
客様に分かりやすく、安全に楽しんで
いただくために、従来通路に積んで
いた玉をパチンコ台の横スペースに置
けたらどうだろうか」という発想か
れる見込みである。

当該システムはヨントリー中川店で
導入されたダイコク電機(愛知県名
古屋市・栢森雅勝社長)の各台計数
機付きユニット(楽PASS)と接続さ
れている。名称、正式リリース時期、
価格は未定であるが、エース電研から
の正式商品として今夏以降に販売さ
れる見込みである。

「玉
越(愛知県名古屋市長・高木二夫
会長)は、傘下のエーシーホー
ルディングスジャパン(愛知県名古屋
市・田中稔章社長)と大手メーカーで
あるエース電研(東京都台東区・瀧井
秋男社長)とで共同開発した各台計
数機付きユニットシステムに対応した
出玉保留装置を、自店のヨントリー
中川店(遊技台数1,060台)にて4
月11日にテスト導入した。」

ら補給メーカーとしてリーディングカ
ンパニーであるエース電研とタイアップ
し、今回のシステム導入に至った。
当該システムについてエース電研製
品企画担当清水氏は、「当初玉越様
からアイデアを頂いたときに、これは
ホール様でないと浮かばない発想と
思いました。またそれと同時に、補給
メーカーでなければ実現できないと
思いました。デジタル化が進む中で、
アナログ感覚に訴求したシステムです
が、パチンコの醍醐味を実感しつつ、安
全面やセキュリティ面も達成してお
り、今後各台計数機導入時に検討し
ていただけるシステムとなれるか、店
舗でのフィールドテストで反響を見た
いと思います」と商品化への意気込み
を訴えた。